

H24 農村環境選択科目

地域資源の適切な維持・管理による農村の活性化
課題を3つ以上挙げ、解決策についてあなたの考え方を述べよ。

1、地域資源の現状

農業農村は、農業生産基盤である水田、畑等の「農地資源」や、ため池や基礎的水利施設等の「農業用水資源」などがある。加えて、自然環境や美しい農村景観等の「環境資源」やバイオマスに代表されるの「有機性資源」、集落機能を支える「農村コミュニティ」もある。

このような農村の地域資源は、「食」と「農」を支える重要な役割を担っているほか、農業生産を通じた二次的自然創出、健全な水・物質循環、生態系の保全、景観の形成、物質循環の促進、集落機能等が一体となって農村地域の活性化にも寄与している。

しかし、農業農村地域での農村資源の現状は、農家戸数の減少等の農業集落の構造変化により、耕作放棄地の増加、農業用水施設の老朽化の進展、農地転用等の土地利用転換が農村景観の悪化を誘発、活用できない有機性資源の放置、地域力の低下による集落機能の衰退など、地域資源の維持・管理が適切に行われない問題が顕在化している。

2、課題

上記の現状を考慮し、地域資源である、1) 農地資源、2) 農業用水資源、3) 環境資源、4) 有機性資源、5) 農村コミュニティ、などの適切な維持・管理による農村環境の活性化のための課題として以下が挙げられる。

(1) 耕作放棄地の再活用

- (2) 農業用水施設の長寿命化
- (3) 農村景観の維持・保全
- (4) 有機性資源の利活用
- (5) 農村コミュニティの再構築

3、解決策

(1) 耕作放棄地の再活用

解決策として、耕作放棄地の復元がある。その際、以前の状態に機能を回復させる整備手法から、一歩進め機能を向上させるアップフォームへの転換を進める事が重要である。

具体的には、農政課題に的確に対応し得る仕組みへシフトとして、暗渠排水等を強化した水田の汎用化がある。これらにより、特に輸入依存度の高い麦・大豆等の転作対策が臨機に展開できることから、再度の耕作放棄の防止が可能となる。

(2) 農業用水施設の長寿命化

解決策として、早い段階で劣化・損傷の状況を把握しLCCを考慮した「予防保全」によるアセットマネジメントを行うべきである。

なお、アセットマネジメントを展開するには、1) 施設の変状及び劣化により性能低下に至っているかを効率的に判断できる診断手法の構築、2) 老朽化の進行予測技術の確立、3) 補修更新計画に対する効果的な対策工法の導入、4) LCCの最小化を図るライフサイクルマネジメントの推進、などに取り組む必要が

ある。

(3) 農村景観の維持・保全

解決策として、景観計画を定めるなど長期的な視点に基づいた取り組みが必要である。

具体的には、1)都市化に伴う土地利用転換等での景観悪化を防止するため意欲ある農業者への農地の集積、2)屋外広告物法等により農村景観を乱す広告物については、規制、撤去を促進、3)耕作放棄地の防止対策の推進、等がある。

(4) 有機性資源の利活用

解決策として、バイオマスタウン構想への取組強化による有機性資源の利活用がある。

そのためには、1)バイオマスの効率的な収集・保管技術の開発、2)セルロース系バイオマスの発酵技術の開発、3)熱化学的変換によるガス化技術の開発、などに取り組むべきである。

(5) 農村コミュニティの再構築

解決策として、過疎化・高齢化に対応した新しいコミュニティの構築がある。

具体的には、広域的な相互扶助体制による新たな農村コミュニティの構築として、1)複数集落での連携により維持保全マネジメントを展開、2)法人形態(会社、NPO、JA、農業法人)で1法人を形成し、農業基盤、生活支援、環境保全等の活動、などがある。